

前橋 青春の会 会報

The Youth Society of Maebashi

Vol.7

2006年6月3日発行

これからは100歳宣言

団塊の世代（一般的に第一次ベビーブーム時の1947年～49年生れ）の大量定年退職者問題。いわゆる「2007年問題」。小子化で若年労働者が減少し、団塊世代の大量退職を補えない企業が人材不足に陥る可能性が出てきています。就職難だとかフリーターやニートの増加が騒がれている昨今、なんと2007年以降に60歳を迎える団塊の世代は全国で約700万人にのぼると言われています。高度な技術力やノウハウをどう伝承していくのが問題になっていくようですが、技能の伝承には時間がかかり、今日教えたから明日からできるものとは思えません。そう考えると、団塊の世代の退職者の雇用を延長して指導者として



前橋青春の会
会長 田子和則

て活用したり、中途採用を増やしていけば良いのではないだろうか。平成18年5月14日に「新青春の会」の総会に出席させていただきましたが、その際に「100歳宣言」を行なっている方々もおりました。もう60歳、70歳だからといってふさぎ込むのではなく、まだ60歳、70歳なのだからと、希望と情熱を持って生きていくべきではないでしょうか。これから「青春の会」は、人生の生き方を象徴していきたいと思えます。

（会長 田子和則）

「前橋青春の会」ホームページが正式に開設します

現在、仮オープン中の「前橋青春の会」ホームページが近日、正式に開設されます。ホームページでは、歴史や活動内容、サムエル・ウルマンの生い立ちや青春の詩についての紹介など、充実のコンテンツで「前橋青春の会」を紹介しております。皆様、オープンをお楽しみに！

URL:<http://www.youth-society.org>

メール:office@youth-society.org

青春

サムエル・ウルマン



青春とは人生の一刻をいうのではなく、あなたの心ばえをいう。溢れる意思と高みへとはばたく想像力をいう。躍動する情熱や己の弱さに打ち克つ勇気をいう。安逸への誘惑を振り切って冒険へと向かう情熱をいう。

人が老いるのは月日のせいではない。己の夢を捨てたせいだ。肌を皺を刻むのは歳月の仕業であり、魂に皺を刻むのは己自身の仕業である。血潮をたぎらせ熱中する己を棄てたからだ。

肉体を折り曲げるのは年月の重なりである。飛翔する魂を折り曲げるのは不安、疑い、自己不信、そして恐れや絶望である。60歳であれ16歳であれ、感動に震え、星に憧れ、輝きを放つ物や思いの虜となるはずだ。そこには、果敢な挑戦があり、幼子のように飽くなき好奇心があり、人生創造の喜びがある。

信念は若さであり、疑念は老いである。自信は若さに宿り、恐れは老いに宿る。希望は青年とともにあり、希望は老人とともにある。

心の奥の無線基地。美、希望、高邁さ、歓喜。そして勇氣からのメッセージを受信する時、あなたは青春のただなかにいる。大地から、同胞から、また不滅の真理からエネルギーを得るからだ。老いるとは、降り積む悲観主義と皮肉の凍てつく氷雪でああなたの通信網が遮断された時をいう。

邦訳 飯野順子

発行／前橋青春の会 編集責任者／事務局 高橋 徹

事務局／前橋市大友町3-12-9 東峰ビル TEL.027-254-5239 FAX.027-254-5259

